

巨大災害国際シンポジウム

東日本大震災の総合的検証と次なる巨大災害への備え



阪神・淡路大震災から25年、日本列島各地で様々な災害が多発するなか、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構では、多くの研究者や関係機関の参画・協力のもと、東日本大震災の復興検証などに取り組んできました。

そのなかで得られた知見をはじめ防災・復興に関する情報を広く共有するとともに、南海トラフ巨大地震や首都直下地震に対し、社会の総力をあげていかに備え、危機に対処していくべきか考えます。

日時

令和2年

3月16日(月)

13:00~17:30

定員

約300名
(無料)

※事前にお申し込みが必要です。

場所

東京国際交流館 国際交流会議場

東京都江東区青海2-2-1

ゆりかもめ東京国際クルーズターミナル駅(新橋駅から16分)下車徒歩3分

<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/kyoten/tiec/access.html>



プログラム

第1部

「東日本大震災の現況と教訓」

13:10~13:55 特別講演

13:55~15:10 パネルディスカッション

〈第1部〉特別講演

13:10~13:55



「東日本大震災の記録保存とデジタルアーカイブの活用」

アンドルー・ゴードン

ハーバード大学教授

第2部

「巨大災害に備える」

15:20~16:05 基調講演

16:05~17:20 パネルディスカッション

17:20~17:30 総括

〈第2部〉基調講演

15:20~16:05



「阪神・淡路大震災25年— 迫り来る巨大災害と危機管理」

河田 恵昭

ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長・
人と防災未来センター長/関西大学社会安全研究
センター長・特別任命教授

主催：(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

共催：読売新聞社

後援：内閣府政策統括官(防災担当)、復興庁、総務省消防庁、兵庫県、東京都、関西広域連合(予定を含む)

〈第1部〉パネルディスカッション

13:55~15:10

「東日本大震災の復興検証—教訓を次なる災害に活かす」

【コーディネーター】

【パネリスト】



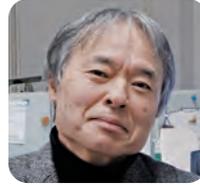
今村 文彦

東北大学災害科学国際研究所長・教授



飯尾 潤

政策研究大学院大学教授



広田 純一

岩手大学農学部教授



ロバート・D・エルドリッチ

エルドリッチ研究所代表

〈第2部〉パネルディスカッション

16:05~17:20

「南海トラフ・首都直下地震など次なる巨大災害に立ち向かう」

【コーディネーター】

【パネリスト】



室崎 益輝

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授



牧 紀男

京都大学防災研究所教授



中林 一樹

首都大学東京・東京都立大学名誉教授



重川 希志依

常葉大学大学院
環境防災研究科教授

総括

17:20~17:30



五百旗頭 真

ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長／兵庫県立大学理事長

お申し込み方法

○E-mailの場合 **宛先** sympo25@dri.ne.jp

件名を「巨大災害国際シンポジウム参加申込」として、①お名前(ふりがな)②所属③住所④電話番号をご記入の上、送信してください。

<http://www.hemri21.jp/application/inquiry-3/> または右のQRコードからでも申し込みできます。



○FAXの場合

参加申込書に必要事項を記入してお送りください。

お申し込みは**3月3日(火)**までをお願いします。

※お申し込みの方には、開催1週間前までに記載いただいた連絡先に参加証を郵送しますので、当日ご持参ください。

※期日までに定員に達した場合は、(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構HPのお知らせにて告知します。

<http://www.hemri21.jp/>

送付先：**FAX 078-262-5122**

巨大災害国際シンポジウム 参加申込書

お名前	所属・団体等	連絡先
ふりがな		〒 TEL _____ FAX _____ E-mail _____

ご記入いただいた個人情報は、当機構が適正に管理するとともに、参加証の発送や当機構からの案内に関してのみ使用します。

お問合せ

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター 交流推進課

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6F TEL 078-262-5713